



# 消防団

瑞穂町消防団だより

令和3年11月  
第 15 号  
発行:消防団広報誌編集委員

11月9日～15日は  
秋の火災予防運動 期間です！！



新型コロナウイルスの影響により、予定していたほとんどの行事が中止となってしまいましたが、なかでも活動することができた行事を紹介いたします。

## 入退団式

4月4日(日)スカイホール大ホールにて、瑞穂町消防団入退団式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症の影響により規模を大幅に縮小しての挙行となり、各分団総勢70名及び退団者5名とご家族の出席となりました。

杉浦裕之町長より村田健二団長が第20代瑞穂町消防団長に任命され、村田団長より団員への任命があり、瑞穂町消防団170名の新体制が始まりました。

長年にわたって町の消防団活動にご尽力された退団者の方々やそのご家族に心から敬意を表するとともに、村田団長はじめ、新体制となった瑞穂町消防団で、改めて町の安全安心に寄与していきたくと強く思いました。

(担当 本部)



規模を縮小しての入退団式



杉浦町長から  
村田団長へ辞令交付



村田団長から退団者ご家族へ  
感謝状を贈呈



花道を作り退団者へ  
花束を「お疲れ様でした」

## 水利点検・備品点検の実施

消火活動で使用する消火栓及び防火水槽の多くは、住民の皆様が利用する町内全域の生活道路に多数設置・埋設してあります。火災発生時に問題なく使用できるように、各分団が担当地域の消火栓・防火水槽の点検を定期的に行っております。

蓋の開閉確認、錆びのたまりの除去など不具合が無いよう点検を実施します。防火水槽は水量を目視で確認し、減水時には充水等を行います。

同じく、日頃より使用する備品の点検も消防活動を行う上で重要な作業の一つです。ポンプ車載の備品を確認・点検・交換、詰所に保管してある備品・防火服やホース、消耗品の数量確認など、団員が一つ一つ手作業で確認を行います。

このような作業を行うことも消防活動の迅速な遂行に繋がっていくと団員一同、気を引き締めて作業にあたっております。

(担当 4分団)



## 教育訓練

4月4日(日)スカイホール大ホールにて、福生消防署瑞穂出張所加藤所長、日置副団長、地域課大野係長が講師のもと、教育訓練が行われました。

「①消防団の制度、②消防団の組織、③消防団員の身分等、④消防団員の処遇、⑤消防団組織法、⑥消防団員の心構え」の内容にて、消防団とは何かを存分に学び、より一層と瑞穂町消防団の活動に身が引き締まる教育訓練となりました。

続いて、加藤所長の講義では、東京消防庁及び福生消防署の概要を教えてください、東京消防庁の職員は約18660人で、世界一の職員数となっております、福生消防署では、この中の約200人の職員数となっております。まさにセーフシティ東京を担っています。

(担当 2分団)



今回は座学での訓練

### 広報誌編集委員

- 本 部 川嶋浩康 副団長・日置高朗 副団長
  - 1分団 竜田昌哉 部長・小野裕輝 部長
  - 2分団 根岸智也 部長・榎本竜也 部長
  - 3分団 吉岡 聡 部長・尾作真一 部長
  - 4分団 濱本賢吾 部長・三浦 卓 部長
  - 5分団 加村嘉章 部長・細渕通秀 部長
- 連絡先 消防団事務局(役場 地域課内)

☎042(557)7610

消防団員になってわが町を守ろう!

